

(2024年1月27日)

## 第44回 赤松小三郎研究会のご報告

日時： 2023. 10. 14 (土) 13:30～16:45

場所： アカデミー茗台 7階 学習室 B

出席者： 16名

### < 配布資料 >

資料-1 「開国後初の外交使節団・万延元年遣米使節世界一周の旅」レジメ  
～万延元年遣米使節子孫の会代表理事 宮原万里子様

資料-2 「幕末期 公議輿論の起点」レジメ～岡田渉さん

資料-3 「赤松小三郎研究会設立10周年記念事業等の進捗状況について」レジメ  
～滝澤進さん

### < 内容 >

#### I 「赤松小三郎研究会設立10周年記念第1回幕末史特別講演」

- ・ 講師：万延元年遣米使節子孫の会代表理事  
宮原 万里子様
- ・ 演題：「開国後初の公式外交使節団・万延元年遣米使節世界一周の旅」
- ・ 概要： 講師は、万延元年遣米使節副使村垣淡路守の玄孫であり、豊富な史料等を基に、スライドを駆使して、遣米使節の歴史的意義と全行程が説明された。

スライドでは、使節団が派遣されるに至った背景（江戸幕府による開国後初の公式外交として派遣）、使節団の構成（総勢77名）等についての紹介の後、三使節の任命、ポーハタン号への乗船、ハワイへの寄港（王カメハメハ4世への謁見）、サンフランシスコ到着、パナマ地峡横断、ホワイトハウス訪問、ブキャナン大統領謁見、ニューヨークでの歓迎パレード、ナイアガラ号への乗船、香港等を経て江戸帰着などの行程について説明が行われ、徳川家茂から大統領あて国書、使節からの贈り物、批准書、使節団員へ贈られた銀、メダルなどのスライドも披露された。

まとめとして、万延元年遣米使節の功績として、見聞を広めたこと、貨幣制度に関する寄与、近代国防組織への開眼、科学知識の導入、英学の発達が挙げられ、この使節団が、米国にとっても費用をすべて支払うほどの国賓待遇で大歓迎した外国使節団であったことが述べられた。

万延元年遣米使節子孫の会は、2011年に設立（2016年一般社団法人化）され、史実と遣米使節の意義を正しく伝えることなどを目的としており、2020年には万延元年遣米使節記念碑に英語訳説明板を設置して、東京都へ寄贈するなどの活動を続けている。

## II 「幕末期 公議輿論の起点」

- ・ 報告者：岡田 渉様
- ・ 概要：赤松の口上書は、「言路洞開」と海防論（パワーポリティクス）を背景として論じられるべきとして、3つの論点が提起された。  
論点1は、公議輿論・「言路洞開」の起点をどこに求めるかで、「黒船説」と「アヘン戦争教訓説」がある。  
論点2は、赤松の国家構造改革企画書にある、〈こころの叫び〉視線を思想的観点でどう深掘りするか。  
論点3は、赤松の議会構想で特筆すべき、「～もし天朝が反対の場合は再決議すれば、～直ちに国中に布告すべし」の発想の原点を探ることである。

### <その他>

1. 「赤松小三郎研究会設立10周年記念事業等の進捗状況」
  - ・ 進行：滝澤 進会長
  - ・ 概要：設立10周年記念事業等の進捗状況について、説明が行われた。
2. 「役員の変更について」  
次の役員変更が承認された。
  - ・ 副会長 沓掛 忠
  - ・ 副事務局長 荻原 貴
  - ・ 運営委員 芦田雄樹
3. 事務局より
  - ・ 第10回赤松小三郎講演会 2023年11月26日（土）
  - ・ 次回例会は2024年2月10日（土）  
場所、時間、内容等詳細は決まり次第ご連絡します。

（記録：滝澤進、荻原貴）